



## 健やか豆知識

第30回

# Q. てんかんのある子どもに 対する遠足時の対応で 正しいのは？

- I 保護者が目的地まで車で送る
- II 学校で自習をさせる
- III 皆と一緒に歩けるところまで歩く



タカちゃん

## てんかんと向き合いながら、さまざまな行事に積極的に参加しよう

てんかんは、脳が突然興奮し、発作が繰り返し起こる脳の病気です。生まれつきの場合や事故等による脳の損傷、インフルエンザ脳症の後遺症など、さまざま原因で発症する可能性があります。1,000人のうち5～8人が罹患しているといわれており、決して珍しい病気というわけではありません。

子どものてんかんによる発作を心配するあまり、日常生活、体育や学校行事などの行動を制限してしまうことがあります。しかし、必要以上に制限することで、成長・発育に必要な運動能力や社会的コミュニケーション能力を伸ばす機会や、実力を発揮する機会を減らしてしまうことになります。

子どもは、学校などでの集団生活や友だちとのかかわりの中で、さまざまな経験を積み成長し、社会性を育んでいきます。友だちと同じ活動ができないことが続くと、次第に自信をなくしてしまいがちです。そうならないためにも発作が起こった際の備えをしつつ、たとえば遠足であれば歩けるところまでは皆と一緒に歩くなど、まずは「できるところまで」という気持ちで、行事などへ少しずつでも参加し、経験を重ねていけるといいですね。

医師の診断書をもって、学校の養護教員や担任などに行事や授業への参加の仕方や学校との連携について相談するのもよいでしょう。各都道府県には小児慢性特定疾病児童等自立支援員が配置されており、生活面等の相談をすることもできます。

子どもの病気を家族だけで抱え込まずに、医師や学校の先生たちと密なコミュニケーションをとり、てんかんと向き合いながら、さまざまな経験を積めるようにしてあげたいですね。

監修 高橋 幸利 静岡てんかん・神経医療センター院長

< III 掘玉 >

さらに詳しい情報は  
ホームページで!



高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —  
高田製薬株式会社

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください。